

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 9 月 24 日 (2020.9.24)

【公表番号】特表 2019-526552 (P2019-526552A)

【公表日】令和 1 年 9 月 19 日 (2019.9.19)

【年通号数】公開・登録公報 2019-038

【出願番号】特願 2019-508193 (P2019-508193)

【国際特許分類】

C 0 7 C 45/42 (2006.01)

C 0 7 C 49/67 (2006.01)

C 0 7 C 49/697 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 45/42

C 0 7 C 49/67

C 0 7 C 49/697

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 13 日 (2020.8.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

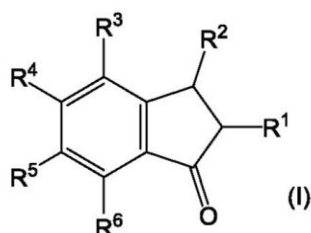
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I) で表される化合物を調製する方法であって、

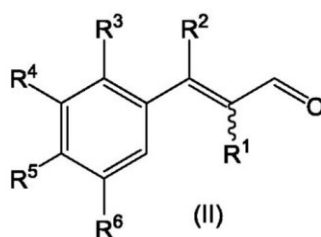
【化 1】



以下のステップを含み：

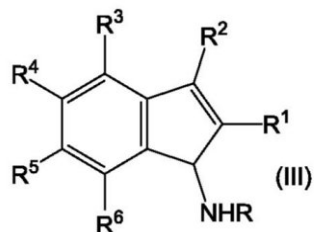
a) アミノ化合物 H_2NR の式 (II) で表される化合物への添加

【化 2】



続いて式 (III) で表される化合物への環化

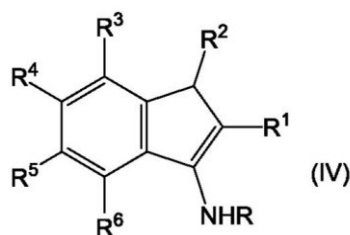
【化 3】



式中、波形の結合は隣り合う二重結合の不特定の配置を示し、アミノ化合物 $H_2N R$ は、アルキルアミド、スルホンアミド、カルバメートからなる群から選択され；

b) 式 (III) で表される化合物の式 (IV) で表される化合物への異性化；

【化 4】



c) 式 (IV) で表される化合物の式 (I) で表される化合物への加水分解；

式中、式 (I)、(II)、(III) および / または (IV) で表される化合物において、

R^1 は、メチル、エチル、エテニル、直鎖、分枝または環状 $C_3 \sim 10$ アルキルまたはアルケニル基、またはフェニル基を表し、それらは任意に置換されていてもよく；および

R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^5 および R^6 は、各々独立して水素原子、メチル、エチル、エテニル、メトキシ、エトキシ、エテノキシ、直鎖、分枝または環状 $C_3 \sim 10$ アルキル、アルケニルまたはアルコキシ基、ハロゲン原子またはフェニル基を表し、それらは任意に置換されていてもよく、および

当該方法がワンポット手順で行われる、前記方法。

【請求項 2】

アミノ化合物 $H_2N R$ がアルキルアミドであり、 R が $-(CO)Me$ または $-(CO)Et$ を表す、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

アミノ化合物 $H_2N R$ がスルホンアミドであり、 R が $-SO_2Me$ 、 $-SO_2Et$ または $-SO_2PhMe$ を表す、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

アミノ化合物 $H_2N R$ がカルバメートであり、 R が $-CO_2Me$ または $-CO_2Et$ を表す、請求項 1 に記載の方法。